

記者発表資料
令和3年1月15日
担当:宮城県農業高等学校
教頭 佐藤 洋(Tel.022-384-2511)

宮城県志津川高等学校
教頭 難波智昭(Tel.0226-46-3643)

第9回 イオンECO-1グランプリ 内閣総理大臣賞及び文部科学大臣賞受賞 に係る教育長表敬訪問について

農業高等学校及び志津川高等学校の生徒の研究発表が「内閣総理大臣賞」及び「文部科学大臣賞」をそれぞれ受賞したことにより、教育長を表敬訪問することになりましたので、お知らせいたします。

記

- 1 訪問日 令和3年1月20日(水) 午後4時30分から午後4時50分まで
- 2 場所 行政庁舎16階 教育長室
- 3 受賞内容 (1) 研究・専門部門 内閣総理大臣賞 (農業高校)
(2) ベストプレゼンテーション賞 (農業高校)
(3) 普及・啓発部門 文部科学大臣賞 (志津川高校)
(4) C.W.ニコルメモリアル賞 (志津川高校)
- 4 受賞者 若松彩唯華 (農業高校2年), 目黒花織 (農業高校1年)
菅原慎之介 (志津川高校2年), 渡辺知冬 (志津川高校2年)
- 5 研究内容 **守れ閑上の砂浜! ZEROマイプラによる食料生産と豊かな海作り(農業高校)**

農業用の緩効性肥料はプラスチックによりコーティングすることで長期間の肥効が得られるが、効果がなくなると5mmのプラスチックが残り、川から海に漂着して、最後にはマイクロプラスチックになる。
このことから、コーティング肥料を使用せずに肥効が長いウレアホルムを使用して試験を行い、プラスチックを削減した栽培を実践した。

故郷の豊かな自然を守ろう! 東日本大震災による工事の影響評価(志津川高校)
地域の自然保護や震災後の復興を目指す町づくりの取り組みとして、八幡川とその河口にある干潟の生物調査を継続的に行っている。
また、震災後の南三陸町の自然変動を把握し、多くの人にこの調査の重要性を伝えるため、図鑑を作成し、町内の小中学校へ配布するとともに出前授業も行っている。

【第9回イオンエコワングランプリについて】

- 1 主催 公益財団法人イオンワンパーセントクラブ
- 2 応募資格 日本国内の全日制・定時制高等学校で、授業および学校が承認しているクラブ活動(サークル・部活)の取り組みを対象
- 3 審査方法 (1) 1次審査(書類選考) 10月
(2) 2次審査(パワーポイント) 11月
(3) 最終審査会(グランプリ大会)プレゼンテーション・質疑応答 12月
- 4 内容 次代を担う高校生が日ごろ取り組んでいる「エコ活動」を募集し、その取り組みを表彰するもの。優れた全国の高校生の皆さんの活動を紹介することで、環境への意識が高まり、多くの学校でエコ活動がさらに広がることを目指している。募集部門は、普及性が高いエコ活動を募集する《普及・啓発部門》と地域固有の問題に着目した専門性の高いエコ活動を募集する《研究・専門部門》の2部門で募集している。